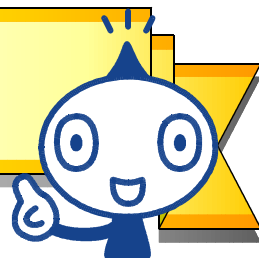


赤穂小学校【学問のすすめ】 ＝解説書＝



「かしこくなる 生活のポイント」について

(1) 朝ごはんを必ず食べよう

・朝ごはんを食べる子どもは学力調査で正答率が高い。

朝食を食べていますか？	国語 A	国語 B	算数 A	算数 B
毎日食べている	74.3%	56.9%	79.5%	59.9%
どちらかといえば、食べている	66.2%	48.2%	71.7%	49.9%
あまり食べていない	61%	43%	66.11%	43.6%
全く食べていない	57.3%	38.9%	62.4%	39.5%

(出典：文部科学省 平成26年度 全国学力・学習状況調査)

(2) メディア宣言を守ろう

・ゲームは1時間以内！外遊びをたくさんした子はかしこくなる。

平日にゲームをする時間は？	国語 A	国語 B	算数 A	算数 B
しない	77.4%	63.4%	81.8%	52.6%
1時間未満	76.5%	62.2%	81.0%	50.9%
1時間～2時間未満	73.4%	58.4%	78.6%	47.5%
2時間～3時間未満	69.9%	54.2%	74.9%	43.7%
3時間～4時間未満	66.7%	50.7%	71.6%	40.8%
4時間以上	62.4%	45.7%	67.0%	37.0%

(出典：文部科学省 平成26年度 全国学力・学習状況調査)

【学問のすすめ】は、「生活で気をつけること」や「家庭学習の仕方」、「各学年で身に付けたい主な力」をまとめたものです。
家の中のよく見えるところに貼るなどして、ご活用下さい。

(3) 本を読もう

・読書の楽しさを知っている子は、学力が伸びます！

読書は好きですか？	国語 A	国語 B	算数 A	算数 B
好き	67.0%	55.3%	79.3%	62.4%
どちらかといえば、好き	61.3%	47.7%	76.8%	57.3%
どちらかといえば、嫌い	59.0%	44.4%	75.8%	55.3%
嫌い	54.8%	37.7%	72.4%	50.0%

(出典：文部科学省 平成25年度 全国学力・学習状況調査)

(4) 9時までに寝よう(高学年は10時までに寝よう)

・早く寝る子は、テストの平均点が高い。

睡眠時間は？	国語	算数
9時間以上～10時間未満	70.3点	73.7点
5時間以上～6時間未満	61.8点	65.8点
5時間以下	51.9点	53.9点

(出典：広島県教育委員会 『基礎・基本』定着状況調査報告書)





「これでばっちり！家庭学習！」について

(1) まず「宿題」をしよう

- ・一番良いのは、「学校から帰ったらまず宿題」という習慣をつけることです。習い事などでそれが難しい場合は、毎日なるべく同じ時刻に始められるようにします。

(2) テレビを消して勉強をしよう

- ・大人と違って、子どもの時期は同時に2つのことを処理することが苦手といわれています。テレビを見ながら、音楽を聴きながら勉強をしても刺激が強い方に意識がいきまいます。そのため、集中力が低下し、いつもより時間がかかったり、雑になったりしてしまいます。

(3) 「復習」「予習」をしよう

- ①一般的に、家庭学習の理想的な時間は、学年×10分+10分です。

(例 3年生なら $3 \times 10 + 10 = 40$ 分 となります)

- ②宿題+習い事の宿題や各家庭で取り組んでいる学習をして、↑の時間にならなかったら、まずは「復習」をするとよいでしょう。

【復習のやり方 例】

- ・国語・社会・理科は、その日授業でしたページを、もう一度読む。
- ・算数は、その日授業でした問題を、もう一度やってみる。
- ・今までに習った漢字を練習する。(自分で○つけができたならおOK!)
- ・これまでに習った計算ドリルをやってみる。(自分で答え合わせも!)
- ・今日勉強したことをお家の人に教えてあげる。(←これもOK!!)

- ③(高学年向け)「宿題」+「復習」をして、さらに余裕がある場合は「予習」をすると中学校に向けての素地が養われます。

【予習のやり方 例】

- ・次の日、授業で学習する教科書のページを読む。(これだけでも効果UP!)
- ・(国語・社会) わからない言葉や単語などを辞書で調べる。
- ・(算数) 次の日、授業で学習するページの問題をやってみる。(できなくてもOK! とりあえずやってみることが大切です!)

(4) 次の日の用意を完璧にしよう

- ・「自分のことは自分です」という態度を小さい学年から育てましょう。ただし、3年生くらいまではお家の方の最後のチェックをよろしくお願ひします。(4年生からは手を離しましょう。いつまでも手を出していると子どもの自立を阻む危険性があります。)
- ・連絡帳にチェックをいれながら、次の日の準備をさせているご家庭もあります。



「各学年で身に付けたい主な力」について

(1) 書かれている項目について

- ・主に、国語と算数について、各学年で学習することやその学年で身に付けておいて欲しい内容が書かれています。(平成30年度から学習指導要領の移行期間に入るため、来年度以降内容が変わる可能性があります。)

(2) 各学年の特徴について (出典：沖縄県教育委員会 家庭学習の手引き)

低学年【習慣づけの1年生】【我慢強さを身に付ける2年生】

- ・一人で学習の内容や方法を決めることはまだ無理です。家族の手助けが欠かせません。
- ・「やったね!」「よくできたね!」まわりのほめ言葉が、すばらしい意欲を生み出します。
- ・いろんなことに興味・関心を持ち、何でも知りたがりです。

中学年【分岐点を乗り越える3年生】【「10歳の壁」を破る4年生】

- ・自立心が芽生え、自分でやろうとすることが多くなりますが、まだ手助けは必要です。
- ・好奇心が旺盛で、行動範囲も広がります。
- ・みんなと行動することを好むとともに、口答えや反抗が少しずつ見られるようになります。
- ・家族の温かい助言や励ましの言葉が、やる気を起こさせます。

高学年【学力の差がつく5年生】【中学校生活に希望をもつ6年生】

- ・一人前に接してもらっているか、大切にされているかなど、大人の評価が気になります。
- ・自分を客観的に見つめたり、友達と自分を比べたりするようになります。
- ・考える力も大人並みになり、時には大人への反抗も見られます。
- ・得意な教科と苦手な教科を意識し始めます。
- ・先生や家族のアドバイスにより、学習に対する意欲や興味・関心が大きく左右されます。